

# 1. 社会実験の全体概要

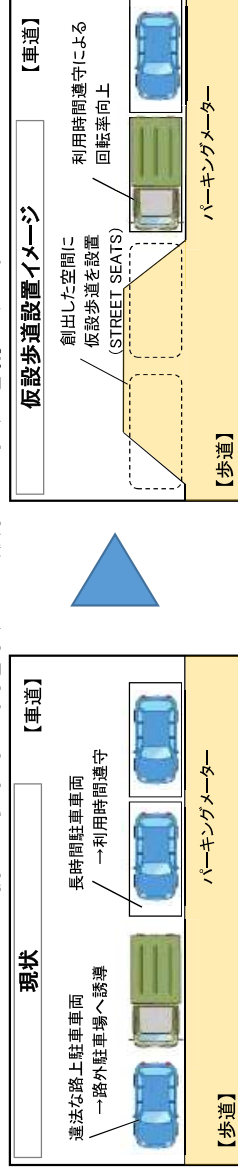
## 1.1. 社会実験の全体像

### 新宿モール&パサージュ ～歩きたくなるみちづくり～

#### 「道路空間の活用による賑わい創出プロジェクト」

##### ①歩行者空間の創出・活用実験

車道の一部に仮設歩道「SHINJUKU STREET SEATS」を設置し、新たな歩行者空間を活用して賑わいや回遊を創出する。



路上駐車等の減少により、  
車道を歩行者のための空間に転換

#### 「新宿東口荷さばき集約化プロジェクト」

##### ③荷さばき車両集約化実験

地区内に流入する荷さばき車両を減少させ、路上駐車車の発生を抑制する。

##### ④荷さばき時間集約化実験

時間ルールをつくり、特定の時間帯において歩行者優先空間を創出する。

##### ⑤荷さばき空間適正利用の啓発

違法な路上駐車車両の路外駐車場への誘導やパーキング・メーターの利用時間遵守を図る。

##### ②賑わい創出

道路空間を活用したイベント等を通じて、賑わいの様々な取組を実施し、まちの魅力向上を図る。

(SHINJUKU EAST FESTIVAL 2019)



## 1.2. 事業化・本格実施を見据えた今年度の社会実験のねらい

#### 「道路空間の活用による賑わい創出プロジェクト」

- まちの滞留時間の増加、まち全体の経済活動への影響を検証するため、「SHINJUKU STREET SEATS」を活用した情報発信、まち全体の回遊を生み出すしかけづくりを行う。
- 将来的に国家戦略特区等の制度を活用した道路占用による、公共還元（荷さばき集約事業等）を前提とした収益事業展開を見据え、道路空間の活用によりまちの賑わいを創出する。

#### 「新宿東口荷さばき集約化プロジェクト」

- 荷さばき集約の事業化を見据えた、取組みの参加店舗拡大を図る。
- 事業化のデポ計画地(内藤町)の活用を想定した配送手段を検証する。
- 一部のエリアでまちに合った荷さばき時間ルールを設定・試行し、順次、地域全体への拡大を図る。  
(デポ等のハード整備に依存しない、即効性のある取組みの定着)